



# QUICK INSTALLATION MANUAL

PCI Bus ULTRA 2 SCSI RAID CONTROLLER

**ADR150/250-1**

プラネックスコミュニケーションズ株式会社



# **QUICK INSTALLATION MANUAL**

**PCI Bus ULTRA 2 SCSI RAID CONTROLLER**

**ADR150/250-1**

# このマニュアルの構成

本マニュアルは、簡易インストールを行うためのマニュアルです。  
構成は以下のようになっております。

第1章 付属品  
付属品について説明します。

## ご使用方法

第2章 インストールの概要  
インストールのおおまかな流れについて説明します。

第3章 インストール  
実際のインストール手順について説明します。

第4章 RAID ドライブの故障時の対処について  
RAID ドライブ故障時の対応方法について説明します。

詳細は付属の英文マニュアルを参照ください。

《マニュアル内の表記について》  
本マニュアル内では製品の名称を本製品と表記します。  
区別が必要な場合は製品型番で表記します。

# 目次

---

第1章 付属品 .....	1
第2章 インストールの概要 .....	2
第3章 インストール	
<b>3</b> - ① アダプタの取り付け .....	3
② SCSIデバイスの接続 .....	3
③ RAID の構成 .....	5
④ ドライバインストール .....	17
⑤ 「Global Array Manager」のインストール .....	23
第4章 RAID ドライブの故障時の対処について .....	24

# 第 1 章

## 付属品

### 第 1 章

パッケージには、以下の付属品が含まれます。不足品がある場合は、販売店または弊社テクニカルサポートまでお問い合わせください。

AcceleRAID150/250 SCSI RAID アダプタ 1 枚

RAID アダプタ本体

ドライバディスク 1 枚

WindowsNT/NetWare

CD-ROM 1 枚

WindowsNT/NetWare/SCO Unix/UnixWare ドライバ

製品マニュアル (PDF) /Global Array Manager

AcceleRAID Quick Installation Guide 1 冊

このクイック・インストレーション・マニュアル 1 冊

英文マニュアルは CD-ROM の「Manuals」フォルダの中に PDF の形式で入っております。PDF ファイルの閲覧ツールをお持ちでない場合、アドビ社の Web サイトより入手できます。

アドビシステムズ <http://www.adobe.co.jp/>

AcceleRAID250 のインストールは以下のような手順で行います次のセクションでそれぞれの手順について説明します。

1. コンピュータへ RAID アダプタを取り付けます。

2. RAID アダプタに SCSI ドライブを接続します。

3. コンピュータを起動し、RAID の構成を行います。

4. 各 OS 毎にドライバのインストールを行います。

### 3-1 アダプタの取り付け

コンピュータへの RAID アダプタの取り付けは以下の手順で行います。作業を始める前にコンピュータの金属部分に触るなどして体内の静電気を放電しておいてください。

1. コンピュータの電源を切り、コンピュータのカバーをはずします。
2. コンピュータの空いている PCI スロットからカバーを取り外します。
3. PCI スロットに RAID アダプタをしっかりと差し込みます。
4. RAID アダプタをネジでコンピュータのケースに固定します。
5. コンピュータのカバーを取り付けます。

コンピュータのカバーの取り外しおよび取り付けの方法については、コンピュータのマニュアルを参照してください。

### 3-2 SCSI デバイスの接続

AcceleRAID 150/250 は SCSI-1、SCSI-2、SCSI-3、Ultra2 SCSI(LVD)の各種 SCSI 機器を接続可能です。内蔵型機器接続用の高密度 68 ピンコネクタを 1 つと外付け機器接続用の超高密度 68 ピンコネクタ 1 つを装備しています。また、アダプタ上のターミネータは自動的に設定されますのでジャンパ設定は不要です。SCSI 機器の接続の際は以下の点に注意してください。

接続可能な SCSI 機器は内蔵機器、外付け機器合計で最大 15 台です。SCSI 接続の終端には必ずターミネータを接続してください。各 SCSI 機器には必ず固有の SCSI ID を設定してください。RAID アダプタは SCSI ID7 を使用しています。各 SCSI 機器には 0 から 6 または 8 から 15 の SCSI ID を設定してください。Ultra2 SCSI 機器を接続する場合は必ず、Ultra2 SCSI 対応のケーブルおよびターミネータを使用してください。Ultra2 SCSI 機器とその他の SCSI 規格の機器を混在して接続することも可能ですが、この場合の転送速度は、他の SCSI 規格の転送速度に合わせられます。各 SCSI 規格ごとの最大接続台数および最大ケーブル長については付属マニュアル「AcceleRAID Installation Guide」の P.2-7 の表 2-1 を参照してください。

### 注意

SCSI バスのターミネータは必ず SCSI 機器に直付けのものではなく独立したものを使用するようにしてください。これは、SCSI 機器に直付けのターミネータを使用した場合にその SCSI 機器が故障すると SCSI バスにターミネータが存在しない状態になってしまうためです。

SCSI デバイスの接続およびターミネータの接続方法については付属 CD-ROM「Manuals」フォルダ内、「Ar150.PDF(ADR150)」の 2-10 から 2-12、「Ar200250.PDF(ADR250)」の 2-2 から 2-7 を参照してください。



## 3-3 RAID の構成

これまでの手順で、SCSI機器のRAIDアダプタへの接続が完了しましたがこの状態では各OS上から、接続したSCSI機器を使用することはできません。各OS上からSCSI機器を使用できるようにするためにはRAIDの構成を行う必要があります。

RAIDにはいくつかのレベルがあります。各RAIDレベルには以下のような特徴があります。RAIDの構成を行う前に、これらのRAIDレベルの中から使用目的に合った最適なRAIDレベルを選択してください。

**レベル 0** : ブロックストライプ機能により、複数のドライブにデータを分散して格納します。もっとも高いパフォーマンスを得ることが可能ですが、データに冗長性がないためRAIDを構成したドライブの内1台でも故障するとすべてのデータが失われます。最低2台のドライブが必要です。

**レベル 1** : データをミラーリングし2台のドライブに全く同じデータを格納します。データには完全な冗長性があります。2台のドライブが必要です。

**レベル 3** : データを複数のドライブに分散して格納します。パリティドライブを使用しデータに冗長性を持たせます。RAIDを構成したドライブの内1台のドライブが故障してもデータは失われません。最低3台のドライブが必要です。

**レベル 5** : データを複数のドライブに分散して格納します。またパリティも複数のドライブに分散して格納されるためRAIDレベル3のようにパリティドライブにアクセスが集中することがありません。RAIDを構成したドライブの内1台のドライブが故障してもデータは失われません。最低3台のドライブが必要です。

**レベル 0+1 (Mylex RAID 6) :**

RAID レベル 0 と 1 を合わせて使用します。このレベルはストライプ機能とミラーリングによる冗長性の両方を提供します。最低 3 台のドライブが必要です。

**JBOD (Mylex RAID 7) :**

「Just a Bunch of Drives」の略。通常の単体の SCSI ドライブとして動作します。1 台のドライブが必要です。

RAID の構成は以下の手順で行います。

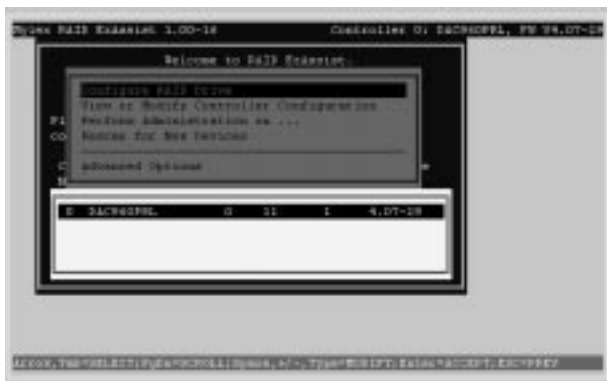
1. コンピュータの電源を入れます。
2. コンピュータの起動時に以下のようなメッセージが表示されるので、[Alt] キーと[R] キーを同時に押してください。

DAC960 BIOS Version 4.xx-xx (xxx xx, xxxx)  
Mylex Corporation

DAC960PTL1 Firmware Version 4.xx-x-xx  
DAC960 PCI Address: xxxxxxxx Bus=x Dev/Slot=xx  
Function=x IRQ=xx  
DAC960 Memory = 8 MB (EDO/ECC)  
Press <ALT-M> for BIOS options  
<DAC960 2 GB Disk BIOS is enabled>  
Press <ALT-R> for RAID Configuration options

### 3. RAID 構成のための Mylex RAID EzAssist のメインメニュー画面が表示されます。

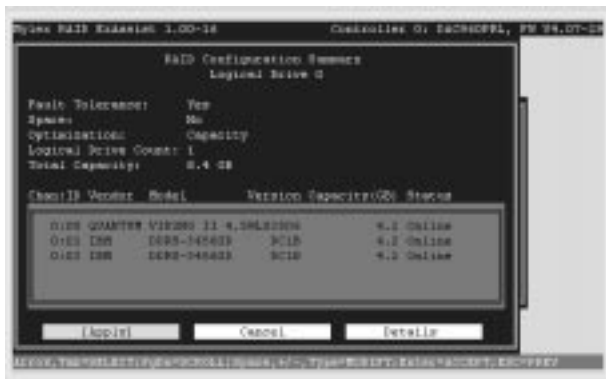
RAID の構成は「Configure RAID Drive」にて設定します。設定方法は自動で設定を行う「Automatic」と画面上の質問に答えて設定を行う「Assited」、すべての設定を手動で行う「Custom」の3種類があります。ここではそれぞれについて設定方法を説明します。



#### Automatic

「Automatic」ではすべての設定が自動で行われますが、容量が同じ3台以上8台以下のドライブが必要であることと、RAID レベルが5に設定されてしまうという制限があります。

1. メインメニューの「Configure RAID Drive」から「Automatic」を選択すると、接続されているハードディスクの一覧が表示されます。



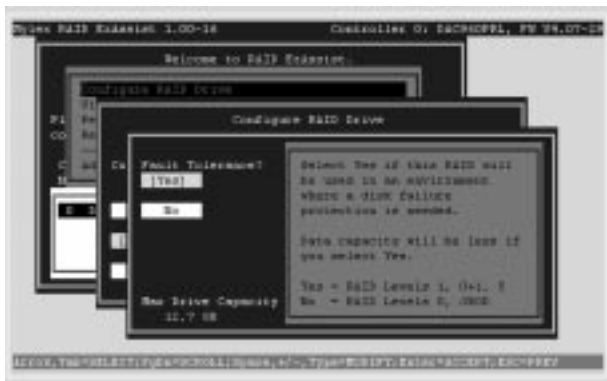
2. 「Details」を選択すると、自動設定されている RAID ドライブの内容を確認できます。「Apply」を選択するとその設定で RAID ドライブが作成されます。



## Assisted

「Assisted」は画面上のメッセージに対して「Yes」「No」を選択しながら RAID ドライブの設定を行うことができます。

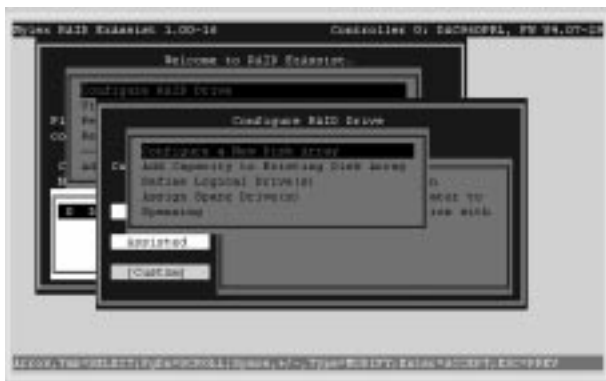
1. メインメニューから「Configure RAID Drive」から「Assisted」を選択すると、画面上にメッセージが表示されますので、設定した項目を「Yes」か「No」で選択してください。下の例では「Yes」を選択すると RAID レベル 1 か 0+1 か 5 を選択でき、「No」を選択すると RAID レベル 0 か JBOD が選択できます。このように「Yes/No」で選択することで RAID の設定を行うことができます。



## Custom

「Custom」ではすべての設定を手動で行う必要がありますが、Accele RAIDで設定可能な構成であれば、ハードディスクの接続台数に従いどのような構成でも行うことが可能です。

1. メインメニューから「Configure RAID Drive」を選択して「Custom」を選択し、メニューから「Configure a New Disk Array」を選択します。



- 2.画面中央のドライブリストに接続されているドライブが表示されるので、RAID の構成に使用するドライブを選択してください。全てのドライブを選択し終わるとカーソルが「Save Array」に移動しますので「Enter」キーを押してください。全て選択しない場合は「TAB」キーを押すと「Save Array」を選択できるようになります。確認画面が表示されたら「Yes」を選択すると次の画面へ進みます。



3. RAID ドライブの設定を行う画面になりますので設定を行ってください。設定を変更したい項目へカーソルキーで移動していただき、スペースキーを押すと変更することができます。各項目の意味は以下の通りです。

- [RAID Level] : RAID のレベル
- [Write Cache] : ライトキャッシュの設定
- [Stripe Size] : ストライプサイズの設定
- [Capacity Physical] : ハードディスクの全容量
- [Capacity Logical] : RAID ドライブの容量

設定可能な項目以外は選択できない、もしくは選択できても変更できません。

なお、冗長性のある RAID レベルを選択した場合、「Capacity Logical」で表示される容量はパリティの容量を除いた実際に OS 上から使用することができる容量となりますので注意してください。





設定が完了したら「TAB」キーを押して「Add Drive」を選択して「Enter」を押してください。画面中央下のエリアに先ほど設定した内容が表示されます。その設定でよろしければ「Apply」を選択して「Enter」を押してください。そのRAIDドライブの設定が有効になります。



これでRAIDの構成は終了です。[Esc]キーを押してMylex RAID EzAssistを終了してください。再起動後、RAIDドライブが使用可能な状態になります。

**⚠ 注意**

- RAID を構成するドライブはすべて同じ容量である必要はありません。ただし、異なる容量のドライブを使用して RAID を構成した場合、すべてのドライブの容量は一番小さいドライブの容量に統一されてしまいます。例えば、4GByte のドライブ 3 台と 2GByte のドライブ 1 台で RAID レベル 0 の RAID を構成した場合、使用可能なドライブ容量は 14GByte ( $4\text{GByte} \times 3 + 2\text{GByte}$ ) ではなく 8GByte ( $2\text{GByte} \times 4$ ) となります。
- ライトキャッシュのモードをライトバック (WRITE BACK) に設定すると、ディスクに書き込むデータは一旦キャッシュメモリ上に保存され、一定時間後ディスクに書き込まれるようになります。このため、ライトバックモードではキャッシュメモリ上からディスクにデータが書き込まれる前に停電などによりコンピュータの電源が切れるとデータの整合性が失われてしまいます。このような事態を避けるためライトバックモードを使用するときは必ず無停電電源装置を使用するようにしてください。また、ライトバックモードではコンピュータの電源を切るときはコンピュータの電源を切れる状態にしてから必ず 15 秒以上時間を置いて電源を切るようにしてください。

## 作成した RAID ドライブの構成を確認

1. メインメニューから「Perform Administration on ...」を選択して「Enter」を押してください。表示されたメニューから「Logical Drive」を選択して「Enter」を押してください。



2. 設定されている RAID ドライブがリストで表示されるので、設定を確認したい RAID ドライブを選択して「Enter」を押して「View or Modify Drive Configuration」を選択してください。そのドライブの構成情報が表示されます。



3. さらに詳しい RAID の構成方法や EzAssist のその他のメニュー項目の使用方法については「EzAssist.pdf」を参照してください。

## 3-4 ドライバインストール

ここではWindowsNT4.0でのドライバインストール方法について説明します。その他のOSでのドライバインストール方法については「Disk Array Controller Software Kit Version 2.0 Installation Guide and User Manual」を参照してください。

WindowsNTではRAIDドライブ上に新規にWindowsNTをインストールする場合とすでにインストール済みのWindowsNTにドライバを追加する場合でインストール方法が異なります。

### RAIDドライブ上へのWindowsNTの新規インストール

#### 注意

WindowsNTではブートパーティションのサイズは4GByteまでという制限があります。したがって4GByte以上のRAIDドライブを構成してあっても、ブートパーティションとしては4GByteまでしか作成できませんの注意してください。余った領域はWindowsNT上からパーティションを作成することにより使用できるようになります。

- 1.WindowsNTのマニュアルを参照して、WindowsNTのインストールを開始してください。
- 2.セットアップの種類を選択する画面が表示されたら[C]キーを押しカスタムセットアップを選択してください。
- 3.大容量記憶装置の検出の画面で[S]キーを押して検出をスキップしてください。
- 4.[S]キーを押して追加デバイスの指定を選択してください。
- 5.アダプタのリストから"その他(ハードウェアメーカー提供のディスクが必要)"を選択してください。

6. 「Software Kit 2.01 NT/NW Drivers Diskette」ディスクをフロッピードライブにセットし[Enter]キーを押してください。
7. "Mylex Disk Array Controller"を選択し、[Enter]キーを押してください。
8. ほかに追加が必要なデバイスがあれば追加を行ってください。追加が必要な場合は[Enter]キーを押して続行してください。  
ATAPIのCD-ROMを使用している場合リストの中から「IDE CD-ROM( ATAPI 1.2 )/PCI IDE Controller」を選択してください。
9. WindowsNTのマニュアルを参照して通常の手順でインストールを続行してください。インストール中に"MDAC Software Kit"ディスクを要求するメッセージが表示された場合は「Software Kit 2.01 NT/NW Drivers Diskette」ディスクを使用してください。

すでにインストール済みの WindowsNT へのドライバの追加

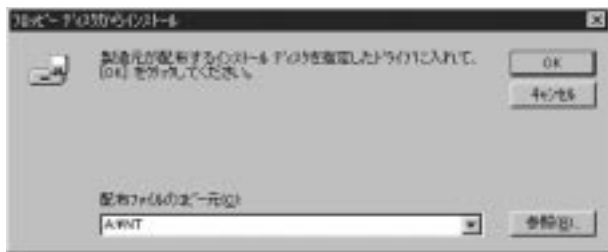
- 1.WindowsNTを起動します。
- 2.[マイコンピュータ]の[コントロールパネル]を開きます。
- 3.[SCSIアダプタ]をダブルクリックします。



4.[ドライバ]タブをクリックし、[追加]ボタンをクリックします。

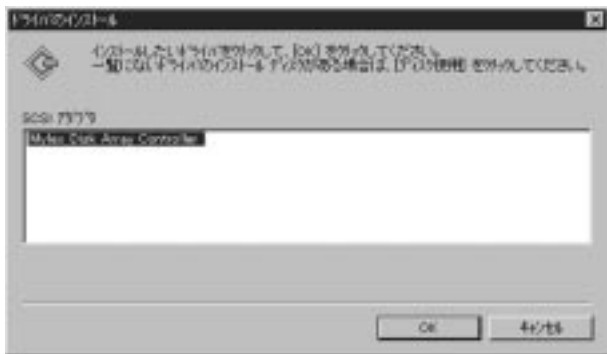


5.[ディスク使用]ボタンをクリックし、「DAC960 SOFTWARE KIT NT/NW Driver」ディスクをフロッピードライブにセットします。配布ファイルのコピー元に「A:¥NT」と入力し[OK]ボタンをクリックしてください。

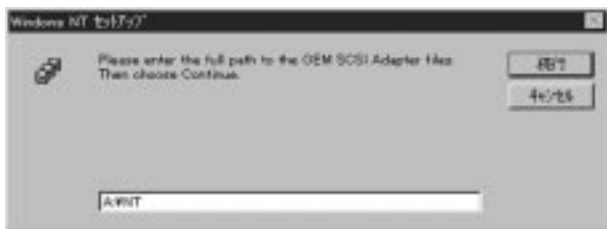




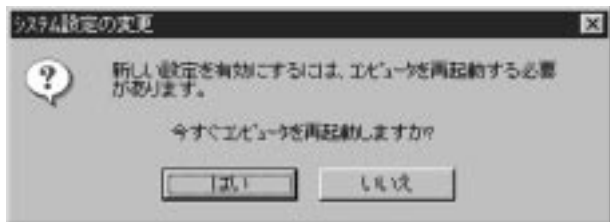
6. "Mylex Disk Array Controller"を選択し[OK]ボタンをクリックしてください。



7. OEM SCSI Adapter fileを要求するメッセージが表示されるので "A:\WINNT" と入力し[続行]ボタンをクリックしてください。



8. ドライバファイルがコピーされ、コンピュータの再起動を要求するメッセージが表示されるので[はい]をクリックしコンピュータを再起動してください。



9. 再起動後、[スタート]メニュー [プログラム] [管理ツール]の [ディスクアドミニストレータ]を実行し、RAID ドライブ上にパーティションの作成とフォーマットを行ってください。

### 3-5 「Global Array Manager」のインストール

「Global Array Manager」はWindows クライアント上でネットワーク経由での RAID アダプタの状態の監視、構成の変更等を行うためのユーティリティです。また、RAID ドライブに障害が発生した場合に E-MAIL や FAX で障害を報告する機能ももっています。冗長性のある RAID レベルで RAID を構成している場合には、特にインストールすることを推奨します。

NTで使用する場合、インストールはCD-ROMの「Gam」フォルダを開いていただき、「Nt」フォルダの中の「SETUP」をダブルクリックしてください。ネットワーク利用の場合は「Client」と「Server」を各PCに、ネットワーク環境で使用しない場合は「WorkStation」をインストールしてください（ネットワーク利用の場合、PCがTCP/IPネットワークで接続されている必要があります）。

「Global Array Manager」はサーバ側とクライアント側の両方のインストールが必要です。詳しい内容についてはCD-ROMの「Manuals」内の「Gam221C.pdf」を参照してください。

冗長性の無いRAIDドライブではRAIDを構成しているドライブの内1台でも故障してしまうとデータが失われてしまいます。この場合は故障したドライブを新しいドライブと交換して、RAIDの構成を最初からやり直してください。

冗長性のあるRAIDレベルで構成したRAIDドライブでドライブが故障した場合は、必ず以下の手順で速やかに対処を行ってください。これ以外の方法で対処を行うとデータを破壊する恐れもあります。

なお、冗長性のあるRAIDレベルであっても2台以上のドライブが同時に故障してしまった場合はデータが失われてしまいます。この場合は故障したドライブを新しいドライブと交換して、RAIDの構成を最初からやり直してください。

#### スペアドライブがない場合

1. コンピュータの電源を切り、故障したドライブを新しいドライブと交換してください。この時、新しいドライブのSCSI IDは故障したドライブと同じSCSI IDに設定してください。
2. コンピュータを起動し、CD-ROMの「Utility」フォルダの「Ezassist」の中の「Ezassist.exe」または「Global Array Manager」を実行してください。
3. 「Ezassist.exe」または「Global Array Manager」上から、「Rebuild」（リビルド）を実行してください。

#### 注意

「Rebuild」（リビルド）を実行する際は必ず、「EzAssist.pdf」のP.3-7 ~ 3-8、または「Gam221C.pdf」P.6-3 ~ 6-4をお読みにになり、リビルドの方法について理解した上で行ってください。誤った操作を行うとデータを破壊する恐れがあります。

### スペアドライブがある場合

スペアドライブがある場合は自動リビルドが実行されます。自動リビルドが終了後、故障したドライブを新しいドライブと交換し、「Global Array Manager」を使用して交換したドライブをスペアドライブに設定してください。

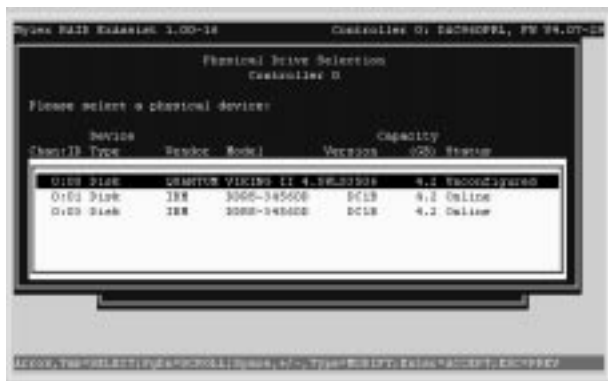
### スペアドライブの作成方法

冗長性のある RAID レベルで RAID を構成したときにドライブが余っていると、そのドライブは自動的にスペアドライブに設定されます。また、後からドライブを追加してスペアドライブに設定することも可能です。この場合は「Global Array Manager」を使用してください。手動で設定する場合は以下の手順でスペアドライブを設定してください。

1. 「MAIN MENU」から「Configure RAID Drive」を選択し、「Custom」を選択して「Assign Spare Drive(s)」を選択します。

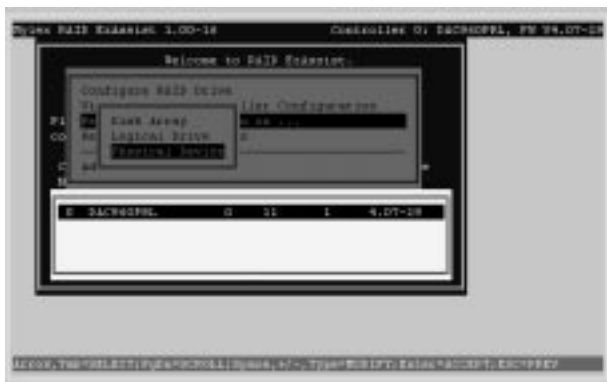


2. 接続されているハードディスクのリストが表示されますので、ホットスペアドライブに設定したいドライブを選択して「Enter」を押してください。確認画面になりますので「Yes」を選択すると、指定ドライブがスペアドライブに設定されます。

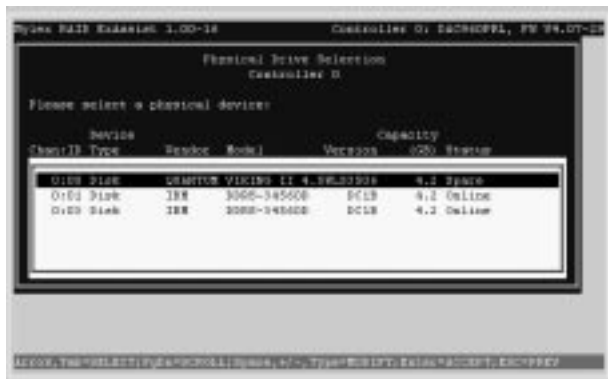


## スペアドライブの確認

1. メインメニューから「Perform Administration on ...」を選択して「Enter」を押してください。表示されたメニューから「Physical Drive」を選択して「Enter」を押してください。



2. 接続されている HDD の一覧が表示されます。「Status」に「Spare」と表示されている HDD がスペアドライブです。



オートリビルド機能(ドライブに不具合が発生した際に自動的にホットスペアドライブに不具合ドライブを入れ替える機能)を有効にする場合は[MAIN MENU]の[View or Modify Controller Configuration]から[Global]を選択し[Automatic Rebuild Management]を[Enable]にしてください。

## バックアップの実行について

冗長性のある RAID レベルであってもドライブ上のデータは絶対に安全であるということはありません。また、冗長性の無い RAID レベルでは 1 台でもディスクが故障するとデータが失われてしまいます。RAID ドライブ上のデータは必ず定期的にバックアップをとるようにしてください。



## SCSIカードの2枚差し時のOSの起動について

ADR以外のSCSIカードを同時に使用していて、OSはそちらから起動したいのにADRから起動しようとしてしまう場合、以下のメッセージが表示されたら「ALT+M」を押していただき

DAC960PTL1 Firmware Version 4.xx-x-xx

DAC960 PCI Address: xxxxxxxx Bus=x Dev/Slot=xx

Function=x IRQ=xx

DAC960 Memory = 8 MB (EDO/ECC)

Press <ALT-M> for BIOS options

### 第4章

表示されたメニューの「BIOS enabled」を「BIOS disabled」に変更してください。逆に他のSCSIから起動してしまう場合は、もう一方のSCSIカードの設定画面でSCSI BIOSを無効にしてください。

技術的なご質問、バージョンアップ等のお問い合わせは  
お気軽に下記へご連絡ください。

なお「ユーザー登録はがき」をご返送またはホームページにて  
ユーザー登録をおこなっていただいていない場合には、  
一切サポートは受けられませんのでご注意ください。

フリーダイヤル：0120-415977

FAX：03-3256-9207

受付時間

月曜日～金曜日(祭日は除く)

10:00～12:00・13:00～17:00

ご質問の受付やドライバのアップデートを  
下記 www サーバで行なっておりますのでご利用ください。

<http://www.planex.co.jp/>

E-MAIL: [info-planex@planex.co.jp](mailto:info-planex@planex.co.jp)

**プラネックスコミュニケーションズ株式会社**

# 質問票

技術的なご質問は、この 2 ページをコピーして必要事項をご記入の上、下記 FAX 番号へお送りください。

プラネックスコミュニケーションズテクニカルサポート担当 行  
FAX : 03-3256-9207

会社名			
部署名			
名前			
電 話		F A X	
E-MAIL			

製品名	PCI Bus ULTRA 2 SCSI RAID CONTROLLER		
型番 Product No.	ADR150/250-1		ご購入の製品型番に「 」 をつけてください。
製造番号 Serial No.			

ご使用のパソコンについて

メーカー	
型番	

ご使用のHDDについて

メーカー	
型番	

ご使用の環境について

OS	バージョン		
HDD の台数		RAID レベル	
その他使用中のカード		IRQ	I/O ADDR

トラブル( エラーメッセージ )発生時とその具体的な場所

パソコン起動時

INTERFACE CARD 構成時

CONFIG.SYS読み込み中

バッチファイル読み込み中

その他

質問内容

**プラネックスコミュニケーションズ株式会社**

# 保証規定

この製品は、厳密な検査に合格したものです。保証期間内に、お客様の正常なご使用状態の元で万一故障した場合には、本保証規定に従い無償で修理をさせていただきます。

ご購入後 1 ヶ月以内に発生した故障については初期不良交換対象となります。1 ヶ月を過ぎた場合は修理扱いとさせていただきますのでご了承ください。なお、弊社はセンドバック方式をとらせていただいております。

故障の場合には、製品をお客様送料ご負担にて郵送していただき、弊社まで修理をご依頼ください。

ただし、次のような場合には保証期間内においても、有償修理となります。

1. ユーザー登録を行っていない場合
2. 購入日が明記されていない場合
3. 取扱上の誤りによる故障及び損傷、不当な修理や改造などをされた場合
4. お買い上げ後の移動、落下または郵送などにより故障、損傷が生じた場合
5. 火災、天災、地変、ガス害、または異常電圧により故障、損傷が生じた場合

保証書は、日本国内においてのみ有効です。

保証期間は、製品お買い上げ日より算定いたします。

保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

**プラネックスコミュニケーションズ株式会社**

# 保 証 書

弊社の保証規定を必ずご覧ください。

保証期間 Warranty	西暦          年          月          日より          1   年間
製品名	<b>PCI Bus ULTRA 2 SCSI RAID CONTROLLER</b>
型番 Product No.	<b>ADR150/250-1</b> ご購入の製品型番に「          」 をつけてください。
製造番号 Serial No.	

個人使用          法人使用（チェックしてください。） 個人でご使用の場合には、個人名、および住所以降の欄にのみご記入ください。	
フリガナ	
会社名 （個人名）	
部課名	
フリガナ	
担当者名	
フリガナ	
住 所	<div> <div>□□□-□□□□</div> <div>都 府 道 県</div> </div>
電 話	<div> <div>—</div> <div>—</div> <div>内線</div> </div>
F A X	<div> <div>—</div> <div>—</div> </div>
E-MAIL	

購入店名 所在地	
-------------	--

**プラネックスコミュニケーションズ株式会社**

# ユーザー登録について

この度は弊社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。弊社では製品をお買い上げいただいたお客様にユーザー登録をお願いしております。ユーザー登録を行っていただいたお客様には新製品情報、バージョンアップ情報、キャンペーン情報等さまざまな情報を提供させていただきます。また、製品の故障等でユーザーサポートをお受けになるにはお客様のユーザー登録が必要となります。ぜひユーザー登録を行ってくださいますようお願いいたします。

ユーザー登録は下記弊社インターネットホームページ上で受け付けております。ホームページ上でユーザー登録を行って戴いたお客様には抽選でプレゼントを差し上げております。ぜひホームページ上のユーザー登録をご利用くださいますようお願いいたします。

<http://www.planex.co.jp/>

インターネットをご使用になれないお客様は、本マニュアル最終ページのユーザー登録はがきをご使用ください。切り取って必要事項をご記入の上、弊社宛にご返送ください。インターネット上でユーザー登録をされたお客様は、ユーザー登録はがきをご返送いただく必要はありません。

## ユーザー登録書の記入方法

ユーザー登録書をご記入いただく場合には、以下の事項を参考にしてください。

“製造番号”には、パッケージ側面に貼られているバーコードシールの“S/N”または商品裏側に記されている内容をご記入ください。

ユーザー登録書の表面の使用環境を忘れずに必ずご記入ください。サポート時の参考情報とさせていただきます。

**プラネックスコミュニケーションズ株式会社**

郵便はがき

お手数ですが  
切手を貼り  
ポストに  
ご投函下さい。

101-0041

東京都千代田区神田須田町 1-7  
ウイン神田高橋ビル 5F

**プラネックスコミュニケーションズ株式会社**

『テクニカル・サポート担当』 行

ご使用になっている環境をお知らせください。

使用 ネットワーク OS	
使用 OS	
使用機種	



# ユーザー登録書

( プラネックスコミュニケーションズ 控 )

購入日	西暦	年	月	日
製品名	PCI Bus ULTRA 2 SCSI RAID CONTROLLER			
型番 Product No.	ADR150/250-1			
製造番号 Serial No.	ご購入の製品型番に「 」 をつけてください。			

個人使用      法人使用 ( チェックしてください。 )	
個人でご使用の場合には、個人名、および住所以降の欄にのみご記入ください。	
フリガナ	
会社名 ( 個人名 )	
部課名	
フリガナ	
担当者名	
フリガナ	
住 所	<div> <div>□□□□-□□□□</div> <div>都 府 道 県</div> </div>
電 話	— — 内線
F A X	— —
E-MAIL	

購入店名 所在地	
-------------	--

プラネックスコミュニケーションズ株式会社